

4. 据付方法 つづき

有圧換気扇と共締めで据付ける場合

1

ロックアウト穴
取付枠

2

有圧換気扇
埋込ボルト
取付穴
取付穴
シャッター
ナット
ワッシャー

3

シャッター
コードプッシュ
(付属部品)
シャッターコード
有圧換気扇

有圧換気扇のシャッターコード取出し用ロックアウト穴をペンチなどで開け、付属のコードプッシュをはめ込む。

- ステンレスタイプの有圧換気扇の場合はコード引出し用プッシュをはずした後、付属のコードプッシュをはめ込む。

- シャッターの取付穴を埋込ボルトに差し込む。
- 有圧換気扇の取付穴を埋込ボルトに差し込み、市販のフッシャーナット(各4個)で確実に締め付ける。
 - PS-70タイプ以上のもので、有圧換気扇と共締めする場合は12か所確実に締め付ける。(埋込ボルトは有圧換気扇の取扱説明書(据付工事説明書付)を参照して埋め込んでください)

電源コードを有圧換気扇側に引き出す。

- 電源コードが羽根・シャッターに接触しないよう有圧換気扇側に十分引き出す。

電気工事 … 結線図および配線例を参照して行う。

警告

- 定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。
- アースを確実に取付ける
故障や漏電のときに感電の原因。

注意

- 電気工事は必ず有資格者である電気工事が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。絶対に「手より接続」はしない。又、電源電線の結線部分は JIS C 8340 の「電線用金属製ボックスおよびボックスカバー」内で行う。接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

- 電源は単相100Vと単相200Vの製品があります。電源の間違いがなく確認して接続してください。間違った電源で運転するとモータが焼損します。
- アース端子、アース線のある機種は、必要に応じて電気工事士によるD種接地工事を行ってください。

有圧換気扇との連動運転の配線例

形名	電磁接触器使用の場合	直切スイッチの場合
PS-20SMA ₃ PS-20SMXA ₃ PS-25SMA ₃ PS-25SMXA ₃ PS-30SMA ₃ PS-30SMXA ₃ PS-35SMA ₃ PS-35SMXA ₃ PS-40SMA ₃ PS-40SMXA ₃ (単相100V時)		
PS-25SMTA ₃ PS-25SMXA ₃ PS-30SMTA ₃ PS-30SMXA ₃ PS-35SMTA ₃ PS-35SMXA ₃ PS-40SMTA ₃ PS-40SMXA ₃ (3相200V時)		
PS-50SMA ₃ PS-50SMXA ₃ (単相100V時)		
PS-50SMTA ₃ PS-60SMTA ₃ PS-60SMTA ₃ PS-60SMTA ₃ PS-70SMTB ₃ PS-80SMTB ₃ PS-105SMTB ₃ (3相200V時)		コントロールスイッチを使う場合

注) ※漏電ブレーカはトリップした事がすぐに分かるよう、警報接点付をおすすめします。
※複数台設置の場合は、回路を複数の系統に分け、トリップ時はすべての換気扇が止まらないようにしてください。
※漏電ブレーカ、電磁接触器、モーターブレーカ、スイッチ類は、すべてお客様手配です。
※電源コードが3芯の製品は「切」の場合(シャッターブレード閉じの動作)も通電が必要です。

結線図

- 電源側には必要に応じて漏電ブレーカを設置してください。
- 漏電ブレーカ、電磁接触器、遅延タイマー、スイッチ類はすべてお客様手配です。

■PS-20~40タイプ (単相100V)

■PS-25~40タイプ (単相200V)

■PS-50タイプ (単相100V) で有圧換気扇本体が単相100Vの場合

■PS-50タイプ以上 (単相200V) で有圧換気扇本体が3相200Vの場合

■PS-50S(M)X₃とEWF-45ESA₂-Qを組合せて使用する場合
※PS-50タイプ以上で有圧換気扇本体が給気仕様の場合

※スイッチ「ON」後8秒以上遅らせて有圧換気扇およびシャッターを動作させてください。

■PS-70タイプ以上のシャッターを使用し有圧換気扇を給気使用する場合で給気専用遅延タイマーボックス(PS-25QS₃-T)を使用した場合

※シャッタースイッチ「ON」後8秒以上遅らせて有圧換気扇を運転させてください。

3相インバータとシャッターの結線方法

■二線式シャッターの結線

■三線式シャッターの結線

単相インバータとシャッターの結線方法

■二線式シャッターの結線

■三線式シャッターの結線

※1複数台運転の場合はシャッター開閉時の合計電流が0.3A以下になるようにしてください。(0.3Aを超える場合は補助リレー等を接続してください)

お願い

- 三線式シャッター (PS-50タイプ以上) はシャッターを閉じるときもモータを動かす電源が必要です。電気工事に間違いないようにご注意ください。(シロ・クロ配線は常時通電のこと)
- 据付後シャッターが確実に開閉するか、振動、異常音がないか試運転をしてください。

取扱説明 (お客様へ)

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな場合でも改造はしない。分解修理は修理技術者以外の人は行わない。火災、感電、けがの原因。修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。 	<p>接触禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の可動部に指や物を入れない。けがの原因。
<p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品を水につけたり、水をかけたりしない。ショートや感電の原因。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期間で使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカを切る。絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。 お手入れの際は手袋を着用する。けがの原因。

2. 点検・お手入れ

3か月ごとに1度、下記の点検を行ってください。

点検項目	処置
錆	<ul style="list-style-type: none"> 製品および製品据付け用のナット・ボルトが錆びていませんか? 部分的な錆はウレタン系塗料で補修してください。錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください(製品落下によるけがのおそれがあります)
ガタつき	<ul style="list-style-type: none"> 製品を据付けたナットがゆるんでいませんか? ガタつきがないようにナットを締め付けてください(製品落下によるけがのおそれがあります)
損傷	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードにキズなどありませんか? コードを交換してください。 フッシュに亀裂などありませんか? フッシュを交換してください(落下によるけがのおそれがあります)
ほこり	<ul style="list-style-type: none"> 可動部にほこりの付着はありませんか? 清掃してください。

1年に1回程度

錆	<ul style="list-style-type: none"> 部分的な錆はウレタン系塗料で補修してください。 錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください。
コード	<ul style="list-style-type: none"> コードにヒビ割れ等がある場合には、コードの交換をしてください。

お願い

- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや変色、割れが発生する原因になります。シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因になります)

3. アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店がお近くの「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝・弊社休日以外)

三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471 (無料)

所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの三菱有圧換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後9年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。